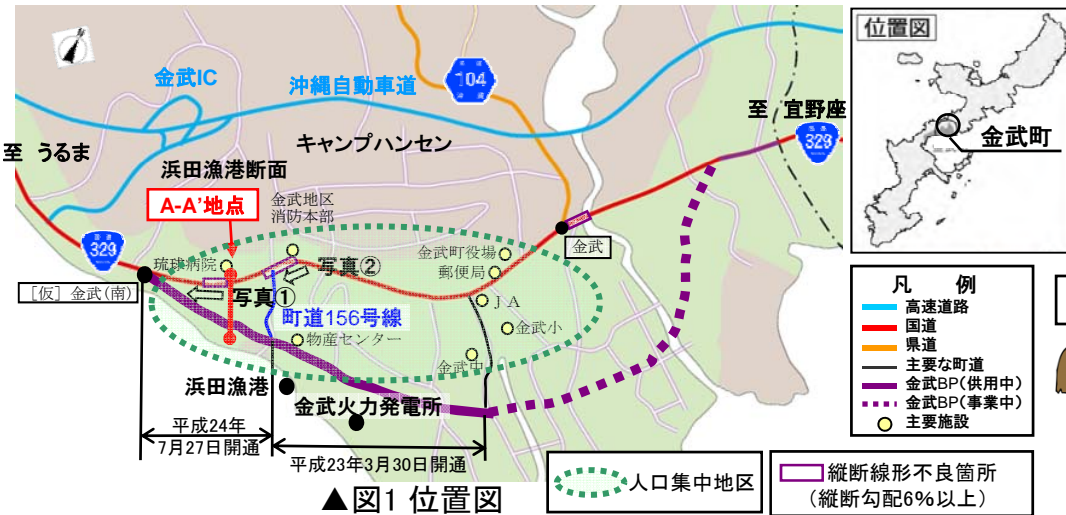


市街地を通過する交通の転換による安全性の向上

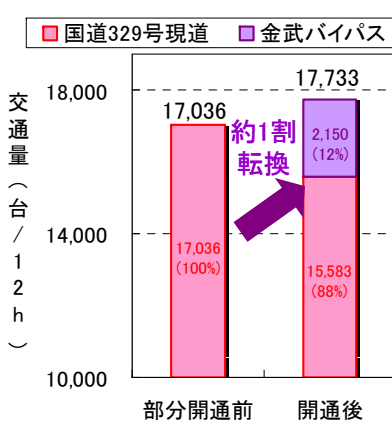
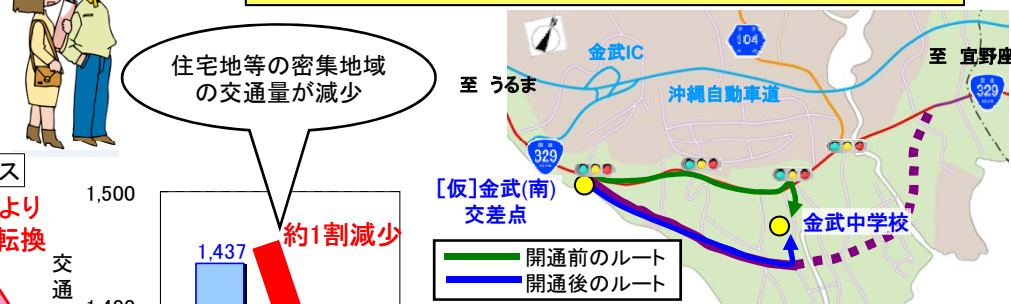
- ・バイパス利用により、現道の線形不良箇所及び人口集中地区を避ける交通が増加(図1・2・3)
- ・現道(国道329号)の交通量が全体で約1割バイパスへ転換(図3)
- ・現道(国道329号)の大型車交通量が15%バイパスへ転換(図4)
- ・周辺に住宅や施設が密集する町道(町道156号線)の交通量が約1割減少(図5)
- ・[仮]金武(南)交差点から金武中学校までの所要時間が約3分短縮(図6)



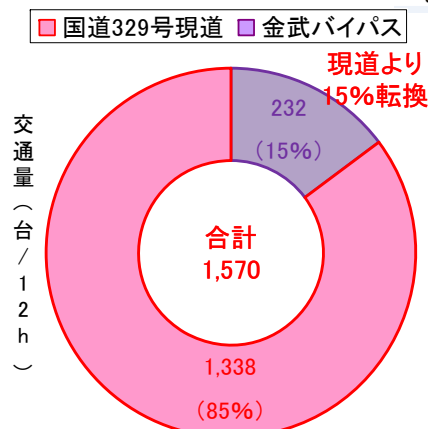
▲図2 現道(国道329号)区間における縦断線形不良箇所

地元の声

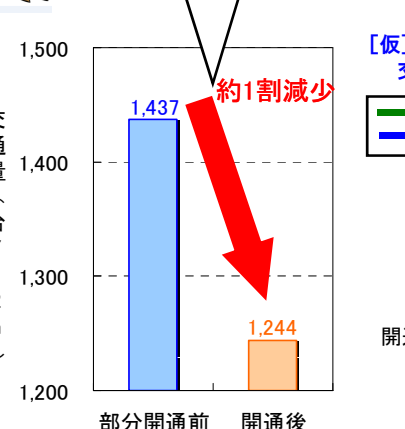
・大型車の町内の通行が減少しているように感じます。
 ・バイパスが全線開通すれば、子供たちの事故も低下すると思います。



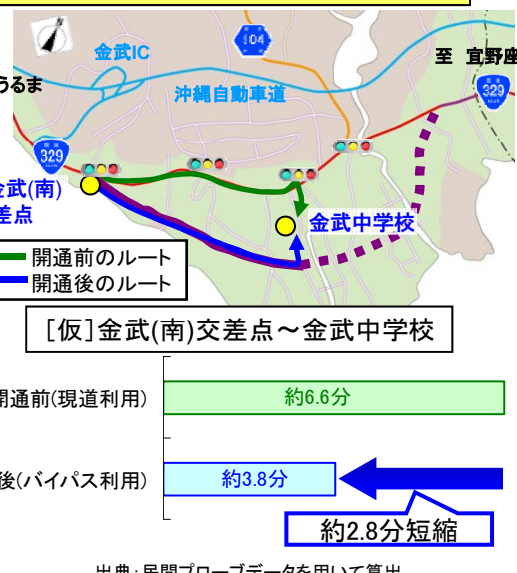
▲図3 交通量の変化(A-A'地点)



▲図4 大型車交通量の変化



▲図5 交通量の変化(町道156号線)



▲図6 所要時間の変化

出典:民間プロブデータを用いて算出
 (開通前:H23.9~11月、開通後:H24.9~11月)
 (開通前は現道利用、開通後はバイパス利用)